

令和5年
第2回
評議員会会議録

5月26日(金)

国立市土地開発公社

令和5年 第2回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 令和5年5月26日(金)

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 10名

会長	青木 健	副会長	香西 貴弘
	石井 伸之		遠藤 直弘
	関口 博		中谷 絢子
	古濱 薫		山口 智之
	矢部 新		石井 めぐみ

(2) 理事 8名

理事長	竹内 光博	副理事長	雨宮 和人
出納理事	宮崎 宏一	常務理事	北村 敦
理事	藤崎 秀明	理事	大川 潤一
理事	黒澤 重徳	理事	中島 広幸

(3) 事務局 3名

事務局長	立川 浩平	庶務係長	君島 正洋
庶務係員	川島 寛史		

4. 議題

協議事項4 令和4年度国立市土地開発公社決算について

5. 会議時間 開会 午前10時00分

閉会 午前10時25分

臨時議長

(関口博君)

本日は国立市土地開発公社評議員会の開催に当たりまして、評議員の皆様におかれましては、6月の市議会定例会を控え、なにかとご多忙のところをご出席いただき、ありがとうございます。

本日の評議員会は、先日の市議会臨時会での、協議会等委員の選出が行われたのちの、初めての評議員会でございます。

従いまして、会長が選任されるまでの間は、年長の私が進行役を務めさせていただきます。

よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

ただいまの出席評議員は10名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから令和5年第2回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第1「会長の選任について」を議題といたします。会長の選任につきましては、国立市土地開発公社定款第23条第1項の規定によりまして、評議員の互選により選任することとなっております。立候補又は推薦される方がおりましたら、うけたまわります。

(「青木健評議員を推薦します。」との声あり。)

ただいま、青木健評議員を会長に推薦する旨の発言がありましたが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしとのことですので、青木健評議員を会長に選任することに決しました。

ここで、暫時休憩といたします。

議長

(青木健君)

休憩を閉じて、議事を再開いたします。

ただいま、会長にご選任をいただき、誠にありがとうございます。

今後のまちづくりを進める上で、土地開発公社が果たす役割は、大変重要であることを認識しております。

皆様のご協力をいただきながら、評議員会を運営していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、日程第2「副会長の選任について」を議題といたします。

副会長につきましても、定款第23条第1項の規定によりまして、評議員の互選により、選任することとなっております。立候補または推薦される方がおりましたら、うけたまわります。

(「香西貴弘評議員を推薦します。」との声あり。)

ただいま、香西貴弘評議員を副会長に推薦する旨の発言がありましたが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしとのことですので、香西評議員を副会長に選任することに決しました。

次に、日程第3「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。

会長において、「中谷評議員」と「香西評議員」の両名を指名することにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、中谷評議員と香西評議員の両名を指名いたします。

日程第4「会期の決定について」を議題といたします。

会期を本日一日とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第5「理事長あいさつ」でございます。理事長、よろしく申し上げます。

理 事 長

(竹 内 光 博 君)

おはようございます。

本日は、皆様におかれましては、国立市議会定例会前のお忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日も協議いただきますのは、国立市土地開発公社の令和4年度決算について、でございます。

令和4年度の事業におきましては、市道八王子道用地を取得いたしました。

本決算につきましては、さる5月19日に三田監事及び内藤監事に監査を実施していただいたところでございます。

詳しい内容につきましては、事務局から説明いたしますので、よろしくご協議のほどをお願い申し上げます。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。

議長 (青木健君)

ありがとうございました。

続いて、日程第6 協議事項4「令和4年度国立市土地開発公社決算」を議題といたします。

当局から、説明を求めます。事務局長。

事務局長 (立川浩平君)

それでは、協議事項4 令和4年度国立市土地開発公社決算につきまして、ご説明申し上げます。

最初に、1 事業報告書でございます。3ページ、令和4年度決算の概況でございますが、用地の取得が1件ございました。

次に、4ページの(2)評議員会協議事項等でございますが、表記の

とおりに評議員会を3回開催し、6件の協議事項につきまして、ご協議をいただいたところでございます。

5ページおよび6ページでは、(4)から(6)、令和5年3月31日現在の評議員、役員および職員に関する事項を記載しております。

次に7ページの2業務でございます。令和4年度におきましては、市道八王子道用地の取得がございました。面積は33.69平方メートル、取得費は合計で2千652万410円でございます。

次に、8ページの3会計でございます。(2)の長期借入金概況でございますが、借入先は国立市で、令和4年度の借入額は2千943万3千951円、未償還残高は2億7千203万3千951円となっております。

次に、2 決算報告書でございます。11ページから14ページは、令和4年度収入支出決算書でございます。

11ページ収益的収入の決算額は、325円
12ページ収益的支出の決算額は、39万3千574円
13ページ資本的収入の決算額は、2千943万3千951円
14ページ資本的支出の決算額は、2千652万410円
となっております。

15ページから19ページは、決算明細書でございます。収益的収入は、款2事業外収益の項1受取利息325円でございます。16ページ・17ページの収益的支出は、款2販売費及び一般管理費の項1販売費及び一般管理費39万3千574円、でございます。18ページの資本的収入は、項3長期借入金2千943万3千951円、19ページの資本的支出は、項1公有地取得事業費2千651万5千410円、項2事業管理費5千円でございます。

次に、3 財務諸表について、ご説明いたします。23ページをお開きください。令和4年度国立市土地開発公社損益計算書でございます。3の販売費及び一般管理費の合計が、事業損失の、39万3千574円でございます。

この事業損失に4の事業外収益を加え、5の事業外費用を差し引いた額が経常損失となり、最終行の当期純損失が39万3千249円となるものでございます。

次に、24ページをお開きください。令和4年度国立市土地開発公社貸借対照表でございます。表左側の上段、資産の部でございますが、1の流動資産は合計で2億8千548万7千856円、2の固定資産は800万円で、最終行の資産合計が、2億9千348万7千856円となるものでございます。

次に、表右側の上段、負債の部でございますが、1の流動負債は、2千943万3千951円、2の固定負債は、2億4千260万円、負債合計が、2億7千203万3千951円でございます。

次に、表右側の下段、純資産の部でございますが、1の資本金は800万円、2の準備金は合計で1千345万3千905円、純資産合計が、2千145万3千905円でございます。表右側の最終行、負債・純資産合計が、表左側の資産合計と同額の、2億9千348万7千856円となるものでございます。

次に25ページの財産目録でございますが、資産合計と、負債・純資産合計が、ともに、2億9千348万7千856円となつてございます。

このうち、純資産の2準備金、1千345万3千905円が、ページ下段の準備金処分計算書にありますとおり、前年度繰越準備金から当期純損失を差し引いた当年度末未処分準備金となり、翌年度への繰越準備金として処分するものでございます。

次に26ページでございますが、令和4年度国立市土地開発公社キャッシュフロー計算書でございます。1は、事業活動によるキャッシュフローで、事業活動にかかる収入と支出を示してございます。計、マイナス2千691万3千659円となつてございます。2は財務活動によるキャッシュフローで、計2千943万3千951円となつてございます。3の現金及び現金同等物の増加額は、1と2の合計となり、252万292円となります。4の現金及び現金同等物の期首残高は1千358万6千634円となりますので、5の現金及び現金同等物の期末残高は、1千610万6千926円となつてございます。

次に、4 附属明細書でございます。29ページは、事業報告書で説明いたしました長期借入金の明細と、資本金の明細でございます。

最後に、31ページに、令和5年5月19日に実施いたしました、決算監査の意見書の写しを添付してございます。

以上が、令和4年度国立市土地開発公社決算についての説明となります。

なお、協議事項に関する説明資料といたしまして、「令和4年度末公有用地明細表」をあわせて提出しております。

それではよろしく、ご協議くださいますよう、お願い申し上げます。

議長 (青木健君)

説明が終わりました。

引き続きまして、監査結果について、三田監事より、ご報告を願います。

監事 (三田徹君)

監事の三田でございます。監事を代表しましてご報告いたします。

内藤哲也監事と私、三田徹両名は、令和5年5月19日午前10時から、市役所2階国立市議会委員会室において、国立市土地開発公社会計規程第35条第2項の規定に基づき、令和4年度の会計決算について、事業報告及び会計帳簿、証拠書類並びに財務諸表の監査を実施し、正確・適正に執行されておりましたことをご報告申し上げます。

議長 (青木健君)

報告が終わりました。

それでは、ご質疑、ご意見をうけたまわります。

評議員 (香西貴弘君)

決算書の25ページ財産目録のところ、財産という扱いになると思いますが、資産の流動資産の中に未収金というところがあります。昨年からもずっと引き継いでいるものだと思いますが、このことに関する経緯をいま一度説明していただいた方が、なぜここからスタートなのかというところが、新しい人を含め、わかると思いますので話せる範囲で結構ですので、確認したいと思います。

事務局長 (立川浩平君)

国立市土地開発公社が以前国立駅南口で保有している土地の暫定活

用事業として駐車場を経営していた時期がございました。その時に時間貸しに加えて月極でお貸ししている区画を借りていた方が駐車場の利用料を支払いしていない時期がございまして、その合計額が25万円がございました。それにつきましては当初滞納が始まった直後から再三にわたって催促、催告等続けておりました。令和4年度もご本人と引き続き電話、手紙でのやりとり、面会のやりとり等つづけております。公社といたしましては、引き続きご本人に支払いの意思がございまして、粘り強く支払いに向けて働きかけていきたいと考えております。そのようなものがこの財産目録に示されているというものでございます。

議長 (青木健君)

よろしいでしょうか。
では、ほかにございませぬでしょうか。

評議員 (関口博君)

今回は決算なので、前の評議会でも説明されているとは思いますが、説明資料のところ、都市計画道路3・4・8号線用地の補償費は0円、市道八王子道用地の方の補償費は約2千万円となっており、土地の取得よりも補償費の方が高い状況ですけれども、この内容について、大まかで結構ですので、どういうことでこの補償費が必要なのか説明いただけますか。

事務局長 (立川浩平君)

本件の先行取得に関しましては、主な関係者が土地所有者の個人の方と、その土地をお借りして事業を営んでいる事業者の方の2者ございます。補償費の大部分は、事業を営んでいる事業者に対する補償費でございまして、具体的には自動車のリースを行っている企業でございまして、事業所の事務所の建物が取得用地にかかっておりましたので、その事務所の建物の移転費、フェンス等の工作物の移転費、工事にかかる休業期間の営業補償費等の積み上げで、この金額になっております。以上でございます。

評議員 (関口博君)

このことについては、監査の方としては、正常な通常の評価というかたちで監査されたというふうに思っております。

事務局長 (立川浩平君)

そのとおりでございます。

議長 (青木健君)

ほかに、ございませんか。なければ、本議題については、これで協議を終了することといたします。

これをもちまして、全日程が終了いたしました。

以上で、令和5年第2回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前10時25分閉会